

# - 空気質の改善 -

某新築マンションの天井のみガイナが塗布してある部屋と、未塗装の部屋、それぞれのVOC濃度とハウスダスト濃度を比較。

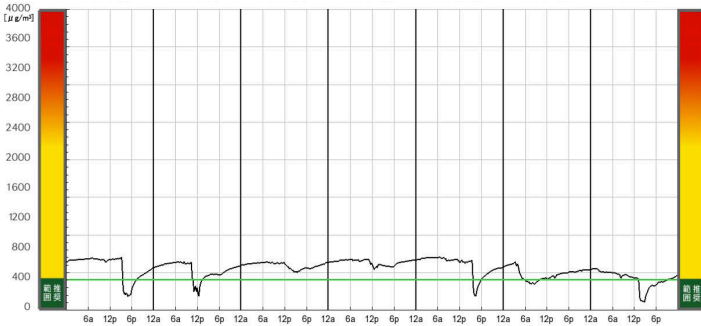
※テスト時期：平成23年10月



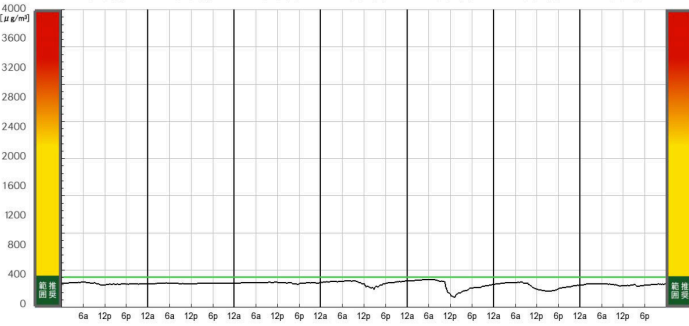
某新築マンション

## VOC（揮発性化合物）の比較

未塗装



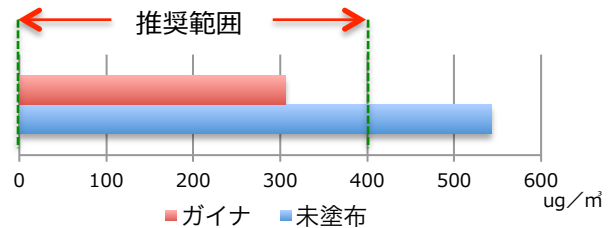
ガイナ塗装



VOCについて：  
一般的には400ug/m<sup>3</sup>以下の場合には健康被害について心配する必要はないと言われています。VOC濃度が高い状態になると、喘息のきっかけになったり、アレルギー症状の発症にもつながります。

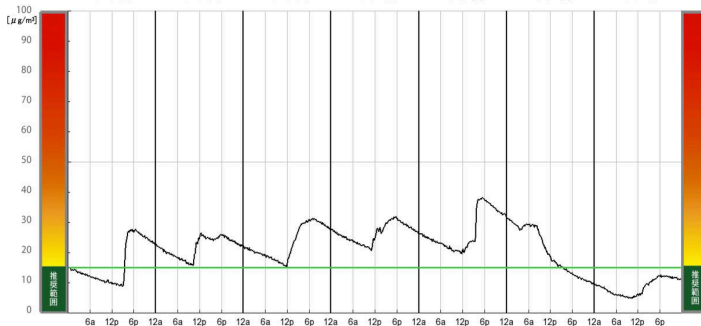
発生源：  
合板や新しい家具、カーペットやカーテンには化学物質を放散するものがあります。石油や芳香剤からの揮発、消臭スプレーやヘアスプレー、家庭用の塗料や接着剤などからも発生します。

テスト期間 総平均VOC濃度

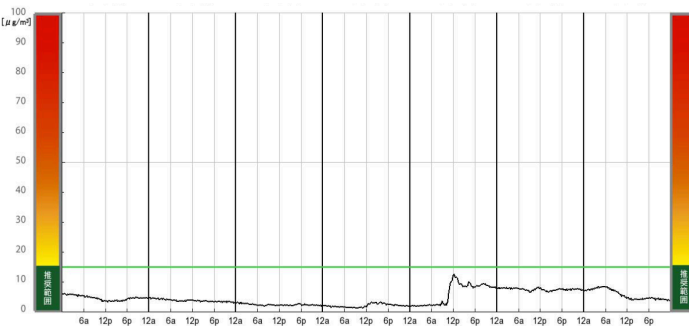


## ハウスダスト(浮遊粒子)

未塗装



ガイナ塗装



ハウスダスト（浮遊粒子）について：  
濃度の日平均が15ug/m<sup>3</sup>以下であれば健康被害の心配はないと言われています。ハウスダストは喘息やアレルギー症状となることが知られています。

発生源：  
ペットや靴などについた汚れ、線香やタバコ、花粉シーズンには屋外の空気、掃除などの室内での動きが発生源となります。

テスト期間 総平均ハウスダスト濃度

